

被災地での被災者支援や復旧・復興活動に従事される予定の方へ

被災地に感染症を持ち込まない、広げない 感染対策にご協力ください！

ご自身と被災地を守ることに繋がります。最大限のご協力をお願いします。

出発前の 体調管理

出発前に必ずご自身の体調管理を行いましょ
咳が出る、熱があるなど、体調が悪い場合は、無理せず**ボランティア活動等の延期**を検討しましょう。

ワクチンの接種歴を確認しましょ
望ましいと考えられるワクチンについては可能な限り出発前に接種してから向かうことを推奨しています。

ワクチンで予防可能な疾患(VPD)の予防に関する詳細はこちら



被災地での 感染対策

**現地での体調管理はご自身で行い、
注意して活動を進めるようにしましょ**



咳エチケット

マスク着用、咳き込む時に口を覆うことなど



手指衛生

特に食事前やトイレ後に注意しましょ



- 長袖
- 長ズボン
- 軍手
- 足を完全に覆う服装

肌を守る服装

特にがれき撤去等の野外作業を行う際は、肌の露出を少なくし、けがをしないようにしましょ

被災地で使う物品は自分で持ち込むようにしましょ。
ご自身で使用されるマスクは、十分な枚数をご持参ください。
また、携帯用アルコール消毒液なども持参しましょ。

もし現地で 体調が悪く なったら

体調が悪くなった場合は、ボランティアセンター等の活動拠点、またはチームのリーダー、健康管理者などに報告し、被災者との接触を避ける、食品を取り扱わないなど、**第一線を離れるようにしてください。**